



世界会計士会議シドニー大会
プログラム（和訳）

2018年9月18日公表プログラムに基づく

1日目		11月5日(月)	
08:00 – 20:00	会議登録		
09:40 – 10:00	Morning Tea		
10:00 – 12:00	★スポンサーによるショーケース(S1-7,16) スポンサーによる宣伝を踏まえたトークイベント	●マスタークラス(MC1-3,7) ※別途有料の参加型イベント	
12:00 – 13:00	ランチ		
13:00 – 15:00	★スポンサーによるショーケース(S8-15,17) スポンサーによる宣伝を踏まえたトークイベント	●マスタークラス(MC4-6,8) ※別途有料の参加型イベント	
15:00 – 15:30	ティーブレイク		
17:00 – 20:00	ローンチイベント at Maritime Museum		

2日目		11月6日(火)			
07:15 – 17:00	会議登録				
08:15 – 09:00	開会式				
09:00 – 10:15	基調講演 1: 国際経済秩序を揺るがす金融大変動				
10:15 – 11:00	ティーブレイク				
	分科会				
11:00 – 12:15	A1: 財務報告フレームワークの統合	A2: 時代の変化に伴う倫理的ジレンマ- 会計士にできること	A3: グローバル化する税逃れ、税操作、税源浸食と利益移転 (BEPS)、ボット (bots)	A4: 10 秒間の勇気を持つには？	A5: デジタル時代の信頼の新しい形
12:15 – 13:15	ランチ				
13:15 – 14:30	分科会				

	B1: 真実を話すこと についての真実	B2: 政府の改革が経済や 社会を変革する	B3: 将来の保証—信頼と 信用の構築	B4: 信頼されるアドバイ ザーの変わる役割—中小 企業顧客の行動への影響 力	B5: グローバルで文化的 な多様性のあるリーダー とリーダーシップ
14:30 – 15:30	ティーブレイク—メルボルンカップ				
15:30 – 17:15	基調講演 2: 信頼の失墜—世界に衝撃を与えた会計不祥事				
18:30 – 21:30	●シドニー湾クルーズ<有料イベント>				
19:00 – 21:00	ジャパンナイト				
3日目	11月7日(水)				
09:00 – 10:30	基調講演 3: デジタル要素の導入—人工知能(AI)、自動化、機会				
10:30 – 11:15	ティーブレイク				
11:15 – 12:30	分科会				
	C1: 長期的価値創造 に生かす統合思考	C2: イノベーションの進 展と財務機能	C3: デジタル通貨とブロ ックチェーンの金融への 影響	C4: ガバナンスとパフォー マンス：成長へ向けた 経営陣の意思決定支援	C5: AI を用いたデータ主 導の意思決定
12:30 – 13:45	ランチ				
13:45 – 15:00	分科会				
	D1: 小規模事務所-ビ ッグバン	D2: 評価—芸術か、それ とも科学か？	D3: ストーリーで語る力 を覚醒する強力な方法	D4: 機動的な財務部門	D5: ブロックチェーンに よる財務管理の効率化
15:00 – 15:45	ティーブレイク				
15:45 – 17:00	基調講演 4: 人間的要素：創造・イノベーション力を生かす				
19:00 – 23:00	ガライベント—シドニーナイト				

4日目		11月8日(木)				
07:00 – 08:15	★朝食セッション：財務における優先事項：人工知能と機械学習					
08:30 – 09:45	分科会					
	E1: アジアにおけるビジネス環境の変化を理解する	E2: 次世代- 新しい人材を引き付けるには	E3: 監査と機械化	E4: 未来の財務パートナー	E5: サイバー犯罪からの防衛 – データとデジタル通貨のリスク	
09:45 – 10:30	ティーブレイク					
10:30 – 11:45	分科会					
	F1: フィンテックの成長- 規制と中央銀行機能への挑戦	F2: CFO 4.0 : 最高財務責任者の新たな役割	F3: 若手会計士が世界を変える	F4: データとデジタル技術を活用して、いかに利害関係者を納得させるか	F5: デジタル時代の新しい働き方	
11:45 – 13:00	ティーブレイク					
13:00 – 14:45	基調講演 5: グローバル・リスクと「未来の衝撃」					
14:45 – 15:05	ティーブレイク					
15:05 – 16:50	基調講演 6: 将来が保証される職業-トレンド、スキル、マインドセット、行動					
16:50 – 17:00	閉会式					

※テーマは2018年9月11日現在の世界会計士会議ウェブサイトのプログラムに基づくものです。

※★マークについては世界会計士会議スポンサーによるトークイベント（席に限りあり）

※●マークについては会議登録費とは別に追加費用が発生するイベント

【1日目】

11月5日（月）

- 09:40~10:00 Morning Tea
10:00~12:00 ★Sponsor showcase(S1-7,16)
●Master Classes (MC1-3,7)
12:00~13:00 Exhibition Lunch
13:00~15:00 ★Sponsor showcase(S8-15,17)
●Master Classes (MC4-6,8)
15:00~15:30 Afternoon tea
17:30~20:00 Launch Event

※★は Sponsor による宣伝を踏まえたイベント

※●は別途有料のイベント

S1: 積極的なイノベーションによる「つながるビジネス」の実現

 Kerry Agiasotis Executive Vice President / Sage

時代はかつてない変革期を迎えており、ビジネスは、そのあり方を変えつつあります。クラウド技術が急速に浸透し、新たなプラットフォーム及びエコシステムが主導する経済へ移行していく中で、ビジネス・モデルは大きく変わろうとしています。このワークショップで、Kerry Agiasotis 氏（エグゼクティブ・バイス・プレジデント、アジア・パシフィック、セージ社）が、クラウド・プラットフォーム及びエコシステムを活用し、より機動的で、統合・自動化された「つながるビジネス」を実現し、この新しいパラダイムの下で、成功・繁栄していくための方法を解説します。

S2: 適応力のある組織づくりにおける気候変動の影響と会計士の役割

 Joy Thomas Chief Executive Officer / CPA Canada

 Gordon Beal CPA CA M.Ed. Vice President - Research Guidance and Support / CPA Canada

気候変動は、地球の将来を左右する大きなテーマです。すでに、社会的及び環境的な視点を超えて、気候変動への対応に向けたビジネスの取り組みが始まっています。

世界的・地域的な気温の変化、異常気象、水などの天然資源の利用可能性が、世界中で、組織のリスク・プロフィールや戦略的ポジショニングに直接影響を与えています。気候変動により、組織には、業務上、財務上及び戦略上の懸念など様々な問題が生じます。会計士の役割は極めて重要です。このセッションでは、組織的観点から気候変動問題を掘り下げながら、会計士はどのようにして関連するリスク及びチャンスを認識するのかをみていきます。そこでは、より弾力性・適応性のある組織づくりをする上で、会計士の持つ既存の職業的専門家としての能力が、非常に重要となることが示されます。対話型アプローチを通じて、参加者は、実際に自分が置かれている状況や役割の中で、学んだ知識をどのように生かしていくかについて、話し合い、じっくりと考えることができます。

S3: 変わる職場環境と家庭

 Angus Ridgway Chief Executive Officer / Potentiallife

職場環境は、これまでになく複雑化し、厳しさを増しています。組織も個人もフラストレーションを募らせ、心身ともに限界を感じながらも、心の健康、ストレス、幸福、過重労働、リスク回避・現状維持バイアス、燃え尽き症候群といった問題に取り組む努力をしています。心身の健康を保持増進し、最高のパフォーマンスを達成するには、どうすればいいのか。

このセッションでは、Angus Ridgway 氏（ポテンシャルライフ社）が、最高の自分になる（そして、居続ける）ための方法として、持続的・幸福と最高のパフォーマンスのための科学を利用することを提案します。

画期的な新しい学問分野であるポジティブ心理学の成果に基づき、なぜ家庭や職場での持続的・幸福が大事なのかを理解し、ストレス・エネルギー管理術を学びましょう。

S4: 財務専門家としての分析力

 Dr Vinod Kumar Murti Technical Lead for Products at IoA / Institute of Analytics (Asia – Pacific)

財務専門家は、単なるスコアキーパーからビジネス・パートナー、さらには、バリュー・インテグレーターへとその役割は進化し、組織のあらゆるレベルで、意思決定に関わる機会が増えています。ビジネスの競争が激しさを増し、業務プロセスが複雑化し続ける今、経営者は、戦略立案や業務管理に実用的かつ深い洞察を絶えず必要としています。こうした洞察を、統合された形でタイムリーに提供していくために、財務専門家は、ビッグデータ分析能力を高め、先見性を身につけなければなりません。

S5: 税務テクノロジー: 自動化プロジェクトの策定、正当化及び合意形成

 Peter Kane Director / Thomson Reuters

財務のあり方が大きく変わろうとしています。グローバル化や規制改革は、そのスピードが速く、様々な課題を生み出しており、税の専門家は、最新の情報に通じ、新技術に適応し、それを取り込んでいく必要があります。

また、税の透明性が一層求められています。そのため、税務担当部署は、今まで以上に大量の報告書を作成しなければならないというプレッシャーにさらされています。企業が税法順守に関する報告のために要する費用は、オーストラリアの場合、毎年、総額で 400 億ドルに上ると試算されています。

こうした変化に対応するために、企業の機能分野全体にわたって、データを、そのプロセスまで含め、収集・分析・理解していくことが、特に、必要になっています。そのためにも、誰もがその恩恵を実感できる新しいテクノロジーをビジネスに導入することが不可欠です。

このセッションでは、参加者のテクノロジー推進に役立つように、テクノロジー導入を正当化するためのいくつかの重要な戦略を紹介し、利害関係者の求めているものを概観し、実際の事例をみていきます。

S6: デジタル技術の進化とビジネスへの影響

 Nicholas Wong Directory of Product Management / Thomson Reuters

T テクノロジーが、可能性の限界を押し広げています。その進化は様々な業界・分野に浸透し、今では、

新興企業が、既存の確立された業界を脅かし、マーケットシェアを奪うことも可能です。

「コネクティビティ」により、仕事とプライベートの境界が曖昧になってきています。今や、日常生活でもそのような境界線はなく、顧客においても同様です。私たちをつなぐ媒体は、ますます増えています。私たちは、この信じられないような変化のスピードに遅れずについていかなければなりません。

このセッションでは、テクノロジーによる 10 のビジネス変革、さらに、それによって私たちの日常がどう変わったかをみていきます。モノやサービスの購入決定に、ソーシャルメディアから情報を得る消費者が増えていることがわかります。顧客と様々なチャンネルを通じて、コミュニケーションを取るための貴重なツールについても学びましょう。

S7: トレーニング・ワークショップ: 職業的懐疑心と日常のビジネス課題

 Duncan Wiggetts Executive Director for Professional Standards / ICAEW

映画「疑問の余地なし (Without Question)」
職業会計士は、ビジネスの成功を左右する重要な役割を担っています。しかし、どのようにして難題に取り組んでいけばよいのでしょうか？

Duncan Wiggetts 氏（専門的基準担当エグゼクティブ・ディレクター、イングランド・ウェールズ勅許会計士協会(ICAEW)によるこの対話型セッションは、Duncan 氏の制作による映画「疑問の余地なし

(Without Question)」を使うことを特色としています。この映画と ICAEW による世界的に成功を取めた初めての映画「誤った保証 (False Assurance)」はともに、職業会計士が日々の仕事の中で直面する問題やジレンマを描いています。

セッションは、インパクトのある興味深い方法で進められ、会社の重役及びプロのアドバイザーが直面する難題に焦点を合わせます。取り上げるテーマには、専門家への依存、守秘義務、税金対策のリスクに対する顧客の姿勢などが含まれます。

このセッションにより、効果的なコミュニケーションの重要性をはっきりと理解し、ビジネスにおいて、信頼、倫理及びガバナンスに関する問題に対処するスキルを向上させてください。

MC1: 財務モデリングの紹介

 Tim Heng MVP Experienced Financial Modeller

財務モデルを2時間で作成するのは不可能だと思いますか？よく考えてみましょう。このセッションでは、バランスシートが、毎回、一度でバランスする方法を示します。効率的に財務諸表を関連付ける方法、モデルを作っていく順序及びその理由、統制勘定の有用性を理解しましょう。—会計士ではなくとも。

セッションの内容

- ・財務諸表の3つの具体例
- ・財務諸表の関連付け

- ・順序の重要性
 - ・すべてをうまく機能させる：統制勘定の素晴らしい世界
- セッションには、ノートパソコンを持参してください。Excel のバージョンは問いません。

MC2: Power BI の威力

 Cecile Nguyen Analyst / SumProduct

Power BI は、Excel と連携してデータ分析・可視化を行うベストなソリューションです。このセッションでは、Power BI の紹介、機能の概要、Excel との類似点・相違点、そして、Power BI を用いたより効果的かつ効率的なレポート作成をみていきます。Power BI を使えば、データ分析が容易に行えることがわかります。(そして、Power BI を手放せなくなります。)

セッションの内容

- ・Power BI (デスクトップ、サービス、モバイル) とは？
 - ・データの取得と変換
 - ・マウス操作のみによるチャート作成と可視化
 - ・クラウドベースのサービス上の分析ツールを用いたデータ抽出
- セッションには、ノートパソコンを持参してください。Excel のバージョンは問いません。

MC3: Excel を使いこなすためのコツと秘訣

 Liam Bastick FCA FCMA CGMA MVP Director

/ SumProduct Pty Ltd

「もっと簡単な方法があるはずだ。」そう思ったことはありませんか？このセッションでは、あなたが正しかったことを証明します。あまり知られていない関数や機能をいくつか使えば、時間が節約され、あなたの作った素朴なスプレッドシートでは、手に負えないと思われた問題も解決されます。あなたの抱えている問題と一緒に、ノートパソコンをご持参ください。健康的なユーモアがあれば歓迎します。

セッションの内容

- ・時間節約のための有益なコツ
- ・データ操作のための秘訣
- ・役立つ関数、機能、数式
- ・あなたの抱える問題と質問

セッションには、ノートパソコンを持参してください。Excel のバージョンは問いません。

S16: 国際会計士連盟(IFAC)会計職業専門家団体(PAO)発展ワークショップ

 Alta Prinsloo Executive Director, Quality & Development / International Federation of Accountants

 Manuel Arias Technical Manager, Quality & Development / International Federation of Accountants

会計職業専門家団体が、会員や利害関係者に価値を提供し、さらに、会員が経営者や顧客に価値を提供

できるようにするという役割を確実に果たすためには、どうすればよいか？

将来に向けて、会計職業専門家団体・会員としての強力な役割を確かなものにしていくために、他の団体・会員が、どのようにして、その目的及びビジネス・モデルを見直し、改めてきたかを学びます。

このセッションは、会計職業専門家団体及びその利害関係者（開発銀行、地域団体、規制当局など）を対象としております。

MC7: シェイクスピアに学ぶリーダーシップ

 James Evans Associate Director / Bell Shakespeare

シェイクスピアには、リーダーシップについて強いこだわりがありました。彼のテーマは、「良き指導者とは」という問いを巡って、繰り広げられます。

James Evans 氏（アソシエイト・ディレクター、ベル・シェイクスピア社）が、実践参加型のワークショップを行い、リハーサル室や舞台上で通常使われる手法を日々の仕事場に取り入れることを体験します。ワークショップを通じて、プレゼンテーションやストーリーテリングの手法を活用し、自分独自のリーダーシップ・スタイルを確立します。同時に、歴史上の最も偉大な作家の一人であるウィリアム・シェイクスピア(William Shakespeare)の考えるリーダーシップのあり方についてもみていきます。

「生まれながらにして偉大な人もいるし、努力して

偉大になる人もいる、そして偉大さを押し付けられる人もいる。」（『十二夜』第2幕 第5場より）

30名限定。

MC4: 機能不全に陥らない分析

 Liam Bastick FCA FCMA CGMA MVP
Director / SumProduct Pty Ltd

このセッションでは、アドイン、サード・パーティー製ソフトウェア、VBA を使わずに、スプレッドシートをレベルアップさせる方法を紹介し、様々な分析手法とともに、分析ツールの作成方法やよくある間違いを避ける方法についてもみていきます。

このセッションでは、以下の分析を行います。

- ・損益分岐点分析
- ・シナリオ分析
- ・感度分析
- ・シミュレーション分析
- ・キー・ドライバー分析（ウォーターフォール形式とトルネード形式）

セッションには、ノートパソコンを持参してください。Excel のバージョンは問いません。

MC5: ダッシュボードのデザイン

 Tim Heng MVP Experienced Financial Modeller

プロフェッショナルなダッシュボードであるために

は、良いというレベルでは、不十分であり、優れていなければなりません。このセッションでは、標準の Excel (アドインもマクロもない普通の Excel とデータ) を用いて、マウス操作だけで、アップデートできる対話型 Excel ダッシュボードの作成方法を紹介し、完璧なダッシュボードを作りながら、チャート選択、フォーマットの仕方に関するプロフェッショナルなテクニックや便利な裏技も紹介します。このセッションでは以下の事項を学びます。

- ・生データからプロフェッショナルな対話型ダッシュボードをリアルタイムで作成
- ・高価なツールや複雑なプログラムを使わず、単純な Excel のみで実現する方法
- ・時間節約するためのフォーマットिंगのショートカット

セッションには、ノートパソコンを持参してください。Excel のバージョンは問いません。

MC6: Power BI の威力

 Cecile Nguyen Analyst / SumProduct

Power BI は、Excel と連携してデータ分析・可視化を行うベストなソリューションです。このセッションでは、Power BI の紹介、機能の概要、Excel との類似点・相違点、そして、Power BI を用いたより効果的かつ効率的なレポート作成をみていきます。Power BI を使えば、データ分析が容易に行えることがわかります。（そして、Power BI を手放せなくなります。）

セッションの内容

・ Power BI (デスクトップ、サービス、モバイル)とは？

・ データの取得と変換

・ マウス操作のみによるチャート作成と可視化

・ クラウドベースのサービス上の分析ツールを用いたデータ抽出

セッションには、ノートパソコンを持参してください。Excel のバージョンは問いません。

S8: 国際会計基準審議会(IASB)アップデート

 Ann Tarc Board Member / International Accounting Standards Board

国際財務報告基準(IFRS)は、国際会計基準審議会(IASB)により策定され、140以上の国が採用しています。世界の金融市場に透明性、説明責任及び効率性をもたらす会計基準です。

このセッションでは、IASBメンバーの Ann Tarca氏が、今年初めに公表された、IFRS第9号「金融商品」、IFRS第15号「収益」、IFRS第16号「リース」、IFRS第17号「保険契約」に関する新基準、及び更新された「財務報告に関する概念フレームワーク」を中心に、最近の主要な動向を解説します。

また、IASBは、新基準と古くなった基準の両方について、どのように運用・適用を支援しているのか、現在どのようなプロジェクトに重点的に取り組んでいるのか、についても詳しく解説されます。

S9: 実務能力を発揮するためのリアルタイム・データの使い方

 Vicky Skipp VP Sales APAC / Receipt Bank

会計処理の自動化は、第一段階を終えようとしています。次の段階に向けた対応は、事務所の存亡を左右します。

会計事務所という車の燃料はデータです。市場とテクノロジーの力が、新たな領域を開拓し、会計ソフトウェアは、銀行のデータやサプライヤーとAPIを通じて直接つながっています。こうした情報をうまく利用して、事務所のシステム、プロセス及びツールを最適化し、顧客が目標を達成できるように支援していくことが、成功するか否かを決めます。デジタル世界で、より高い価値を提供する方法について学びましょう。

S10: 財務自動化賞受賞ロボットの紹介

 Jamie Lyon Portfolio head - business management / ACCA (The Association of Chartered Certified Accountants)

当惑するほどのテクノロジーの選択肢の中で、ロボットという選択肢はその期待に応え、財務チームの顔ぶれを変えるほどになるのでしょうか？

このセッションでは、そうした誤解に切り込み、ロボットと財務の自動化に関する誤った通念を払拭していきます。

英国勅許公認会計士協会(ACCA)、オーストラリア・

ニュージーランド勅許会計士協会(CA ANZ)及び世界トップレベルのテクノロジー・ブランド企業が提携し、革新的な研究を行い、ロボットを現実のものとしています。この新しい仮想の仕事仲間と楽しい時間を過ごしなが、未来の財務チームにおけるデジタル技術の可能性を実感し、アイデアを見つけてください。

S11: 必要とされる存在から必要不可欠な存在へ

 Jennifer Warawa Executive Vice President, Partners, Accountants & Alliances / Sage

市場が目まぐるしく変化し、テクノロジーが多くの仕事を奪い、冗長さがリスクとなっている中、簿記・会計・コンサルティングの職業専門家の関心は、必要とされる存在であり続けるためには、どうすればよいかにありました。

しかし、必要とされる存在であり続けるだけで、本当に十分でしょうか？このワークショップでは、必要とされるだけでは、仕事を維持できないことを理解し、単なる必要とされる存在から必要不可欠な存在となるための最高の方法を学びます。

S12: 会計士は世界を救えるか？戦略、意思決定及び国連の持続可能な開発目標(SDGs)

 Jessica Fries Executive Chairman / The Prince of Wales's Accounting for Sustainability Project

あなたの戦略の中核には、チャレンジすべき重要な今日的課題があります。どのようにして、解決していけばよいのでしょうか？ビジネスと持続可能な開発委員会(BSDC)によると、SDGs への取り組みは、12兆 US ドルのビジネスチャンスを創出します。また、気候変動、格差、天然資源の持続不可能な利用及び水ストレスなどが、このままの傾向を続けると、経済的・社会的なコストは、膨大なものになるとしています。この対話型ワークショップでは、そうした課題への取り組みにおいて、会計士が、どのようにして、中心的な役割を果たしていくかについて考えるとともに、戦略及び意思決定の中核に SDGs を取り入れるための実用的なツールを提供します。

セッションの内容

- ・国連の持続可能な開発目標とは？なぜ、会計士が関係するのか？
- ・これらのグローバルな目標は、企業、投資家及び政府の意思決定に、どのように取り入れられているのか？
- ・どのように、SDGs を組織の目的と結びつけるのか？どのように、重要な利害関係者に関与してもらおうか？
- ・会計士が戦略的な対応を構築する際に、どんな実用的なツールやテクニックが役立つのか？

S13: 変わる会計士の職業倫理

 Associate Professor Eva Tsahuridu School of Accounting / RMIT University

 Dr Gillian Vesty School of Accounting, /

RMIT University

 Professor Steven Dellaportas School of Accounting / RMIT University

ロイヤルメルボルン工科大学(RMIT University)では、会計士の職業倫理に関して、対話型の真剣なゲームを取り入れた、革新的な教育を行っています。ゲームを通して、職業会計士は、道德意識、感受性、論理的思考及び判断力を、体験しながら身に付けます。ゲームデザイン化された学習モジュールは、状況やプレッシャーも本物の体験を通じて、既存及び未来の会計士を、再構成された「職業会計士の倫理規程」に精通させていきます。また、実際の現場で起こる問題の解決法も与えられます。

このセッションでは、このゲームを体験していただきます。セッションで体験するゲームは、マイクロ認定資格として、ロイヤルメルボルン工科大学から公認されております。また、同大学の職業会計士団体より献金を受けております。ゲームを終えると、会計士の職業倫理に関する専門職継続開発(CPD)訓練3時間相当を修了したことが公認され、修了証明書が発行されます。

初開催となる、今後の会計倫理教育の姿を体験してください。あなたの生涯学習が次の段階へ進むきっかけとなるでしょう。

S14: 公共財政管理(PFM)の強化による発生主義の利点

 Ian Carruthers Facilitator: Chair /

International Public Sector Accounting Standards Board

世界的に、公共部門では、発生主義に基づく会計報告の採用が支持を得ています。しかし、その利点は、どこにあるのでしょうか？また、発生主義会計へ移行すれば、どうして政府の会計報告の信頼性・透明性が向上し、国民の繁栄につながるのでしょうか？以下の項目について、国際的専門家が解説していきます。

- ・公共財政管理(PFM)の資産管理における発生主義会計の利点
 - ・社会にもたらされる公共サービスや福利厚生
 - ・市場による格付け及び長期的な財政の持続可能性
 - ・国際通貨基金(IMF)によるバランスシート情報プロジェクト
- 他のスピーカーについては、後ほどお知らせします。

S15: 監査の将来：国際監査・保証基準審議会(IAASAB)との対話

 Professor Arnold Schilder Chairman / International Auditing and Assurance Standards Board (IAASB)

 Megan Zietsman Deputy Chair / International Auditing and Assurance Standards Board (IAASB)

 Fiona Campbell Member / International Auditing and Assurance Standards Board (IAASB)

IAASB アップデーター高品質で価値ある重要な基準

IAASB は、監査・保証業務の専門家が直面する難題に対処する最前線にいます。見積もりの不確実性や公正価値を取り扱う IFRS 第 9 号などの新しく複雑な会計基準、ますます増えるテクノロジーの利用、さらに、監査人の役割や監査の妥当性に対する疑問、これらをはじめとして、監査の世界に様々な変化が急速に起きています。そうした変化に対処するため、現在、IAASB は、監査の品質を高めることに重点的に取り組んでいます。

IAASB の議長、副議長と主要メンバーにより、IAASB アップデートだけではなく、現在進行中のプロジェクトや 2020 年から 2023 年に向けた将来戦略について、双方向対話も行われます。セッションでは、最近承認した国際監査基準(ISA)第 540 号(改訂)及び最近公表した国際監査基準(ISA)第 315 号(改訂)の公開草案に対するパブリックコメントもみていきます。国際監査基準(ISA)第 540 号(改訂)は、会計上の見積もり及び関連する開示の監査基準を引き上げるものです。監査基準(ISA)第 315 号(改訂)は、重要な虚偽表示リスクの識別・評価（すべての監査の基礎）方法を強化するものです。

このセッションでは、以下のような重要なトピックも取り上げます。

- ・データ分析などにおける自動化ツール・テクニックの利用拡大
- ・ますます注目される職業的懐疑心の実践の重要性

・事務所及び個人の業務レベルに対する品質管理の重要性

- ・合意した手続の契約に関する基準の改訂

IAASB のメンバーによるこのセッションに参加して、将来の監査に関わるこれらの重要なトピックを含め、さらに学び、他の参加者と議論を交わしましょう。

このセッションは、会計職業専門家団体のスタッフのみを対象としております。

S17: 国際会計士連盟(IFAC)会計職業専門家団体(PAO)発展ワークショップ

 Alta Prinsloo Executive Director, Quality & Development / International Federation of Accountants

 Manuel Arias Technical Manager, Quality & Development / International Federation of Accountants

消費者主導で急速に変化するこの時代において、会計職業専門家団体は、職業会計士の価値を明確にし、ビジネス界において、その貢献が見落とされることのないようにしなければなりません。

他の団体が、どのようにして、会員から信頼されるブランドを構築しているのかを学び、職業会計士のニーズの変化に対応する会員中心のサービスを提供する可能性について考えます。

このセッションは、会計職業専門家団体及びその利害関係者（開発銀行、地域団体、規制当局など）を

対象としております。

【2日目】

11月6日(火)

- 08:15~09:00 開会式
- 09:00~10:15 基調講演 1
- 10:15~11:00 Morning Tea
- 11:00~12:15 分科会 A1-A5
- 12:15~13:15 Exhibition Lunch
- 13:15~14:30 分科会 B1-B5
- 15:30~17:15 基調講演 2
- 19:00~21:00 ジャパンナイト

基調講演 1 国際経済秩序を揺るがす金融大変動

会場：未定

 Holly Ransom, Facilitator: Chief Executive Officer / Emergent

 Professor Niall Ferguson, Professor of History at Harvard / Senior research fellow, Jesus college, Oxford / Senior fellow, Hoover Institution, Stanford University / BBC's Reith lecturer 2012

金融危機が社会や政治にもたらす結末は、想像をはるかに超えています。当初は、その深刻な事態に気づく人はほとんどいません。経済歴史学者の Niall Ferguson 氏が、歴史は今も生きており、未来を映し出す鏡であることを、過去の実例を通して示します。2008年の金融危機から10年。今も消えない危機の残した爪痕とは？次なる金融危機は、どのような形でやってくるのでしょうか？

経済歴史学者の Niall Ferguson 氏が、歴史は今も生きており、未来を映し出す鏡であることを、過去の実例を通して示します。

- ・ブレグジット、トランプ大統領の誕生、世界中に広がるポピュリズム及び権威主義を経て、今、世界はどうなっているのか？
- ・仮想通貨は、金融システムを大きく変えるのか？
- ・次なる金融危機は、もう始まろうとしている？

A1 : 財務報告フレームワークの統合

会場：未定

 Ian Mackintosh, Facilitator: Chair/ Corporate

Reporting Dialogue

 Kris Peach FCPA, Chair/ Australian Accounting Standards Board

 Richard Howitt, Chief Executive Officer/ International Integrated Reporting Council

 Mardi McBrien, Managing Director/ Climate Disclosure Standards Board

今後、財務報告フレームワークを1つに統合していくことは可能なのでしょうか？財務専門家は、複数のフレームワークのもとで、最終利用者に最良の知見を提供しなければなりません。そのため、情報があふれる社会の中で、より多くの情報を得ることに頭を悩ませ続けています。パネル・ディスカッションは、以下のようなテーマで進める予定です。

- ・利用者は、財務報告書をどのように読めばよいのか。
- ・利用者は何を知りたいのか、それに財務報告書はどう答えるべきか。
- ・長期的な価値を達成するために、今後、財務報告書はどうあるべきか。

A2 : 時代の変化に伴う倫理的ジレンマ- 会計士にできること

会場：未定

 Michael Izza, Facilitator: Chief Executive Officer / ICAEW

 Professor Patrick Lumumba, Director/ Kenya

School of Law

 Stavros Thomadakis, Chair/ International Ethics Standards Board for Accountants
Clare Payne, EY Fellow/ Trust and Ethics

信頼は壊れやすいものです。築くのは大変なのに、失うのは容易です。

テクノロジーの進歩により、競争は激化し、ビジネスは複雑化しています。サプライ・チェーンはグローバル化し、その管理リスクが高まっています。こうした様々な課題により、ビジネスは新たな倫理的ジレンマに直面しています。

監査や会計の役割として、正しい倫理的判断を提供するという機能が、これほど切迫した課題となったことは、かつてありませんでした。何とかしなければ、財務の評判や仕事は、悲惨な結末を迎えるでしょう。

セッションの目的：

- ・2017年7月に違法行為への対応(NOCLAR)が公表された事情や NOCLAR が取り組もうとしている最近の事例の概要を知る。
- ・NOCLARによって、腐敗防止活動をどのように管理・縮小するのかを理解する。
- ・意思決定フレームワークを用いることで、顧客と社会の両方の関心・ニーズを見極め、バランスさせ、また、顧客との信頼関係を確実に築き、維持していくにはどうすればよいかを議論する。

A3 : グローバル化する税逃れ、税操作、税源浸食と利益移転(BEPS)、ボット(bots)

会場：未定

 Sue Williamson CPA, Facilitator: Tax Partner / EY

 Chris Jordan AO CFO, Commissioner of Taxation and Registrar of the Australian Business Register/ Australian Taxation Office

 David Bradbury, Head of the Tax Policy and Statistics/ Centre for Tax Policy and Administration (OECD)

租税環境はグローバルに極めて多様化しており、すべてのビジネスに影響を及ぼしています。このセッションでは、専門家により、以下のような最も重要な税制の変更や経済的な影響が議論されます。

- ・徴税のデジタル化と簡素化
- ・パナマ文書及びパラダイス文書の漏えいと反租税回避の協力にもたらした影響
- ・開発途上の国や地域において、租税政策及び BEPS 導入が直面する課題
- ・ビットコインなどのデジタル通貨の税務上の取り扱いを理解
- ・ブレイグジットの影響及び 2017 年末に施行された米国の税制改正

A4 : 10 秒間の勇気をもつには？

会場：未定

 Nadine Champion, Martial Arts Gold

Medallist

イノベーションと機敏さがビジネスの成功へのカギとなる時代では、リスクを冒し、早めに失敗してしまうという姿勢が、かつてないほど重要です。「10 秒間の勇気」では、Nadine Champion 氏が、恐れと対峙するための戦略の要点を述べ、心の持ちようで強くなれることを明らかにします。また、他人を強くする方法についても紹介します。Nadine 氏の考え方を象徴する代表的な原則「目を閉じて、痛みはなくなる。」や「10 秒間の勇気」についても解説します。

A5 : デジタル時代の信頼の新しい形 (ロンドンからライブストリーミング)

会場：未定

 Holly Ransom, Facilitator: Chief Executive Officer / Emergent

 Rachel Botsman, Trust Expert, Author / Who Can You Trust

誰を、どのように、信頼するのか？今、信頼の在り方が、大きく、そして急激に変わろうとしています。政府、銀行、メディア、慈善団体、教会などの機関に対して、我々がかつて寄せていた信頼は、地に落ちていきます。組織、機関及び社会への影響は、計り知れません。

それに代わって、今や「分散された信頼」の時代なのです。それは、新しいテクノロジーによってもた

らされたものであり、個人が個人を信頼するという
ことです。信頼は、組織のような上ではなく、個
人という横に向かっているのです。

先の見えないこの状況を、Rachel Botsman 氏が示
唆に富む逸話によって案内し、仕事や人間関係の先
にあるものを探ります。確立された権威よりも見知
らぬ他人やロボット（人のかわりに作業を行う自動化
プログラム）を信頼する新時代を巡るための実用的
なヒントを学びましょう。

B1 : 真実を話すことについての真実

会場：未定

 Mary Inman, Facilitator : Partner /
Constantine Cannon

 Sylvain Mansotte, Co-Founder & Chief
Executive Officer / Whispli; Leighton Holdings
Whistleblower

 Wendy Addison, Founder and Chief Executive
Officer / SpeakOut SpeakUp Ltd; Whistleblower,
LeisureNet (Sth Africa)

 Michael Woodford, MBE, Former Chief
Executive Officer / Olympus Corporation

内部告発者は、渋々英雄になることがほとんどです。
企業の不正から社会を守る上で重要な役割を果たし
ていますが、正義のために立ち上がることによる反
響が、個人的にも、また仕事の上でも厳しいものにな
り得ます。

このパネル・ディスカッションは、内部告発経験者

により、次のようなテーマで行われ、実際の経験か
ら得た見識を提供します。

・規制、ベスト・プラクティス、フレームワーク及
び体制

・所属組織の倫理的なカルチャーに対するテスト

・先を見越して行動し、正しい倫理観とビジネス・
カルチャーを身に付ける

B2 : 政府の改革が経済や社会を変革する

会場：未定

 Joaquim Levy, Managing Director and Chief
Financial Officer/ World Bank Group (US)

 Sir Bill English KNZM, Former Prime Minister /
New Zealand

 Sri Mulyani Indrawati, Minister of Finance /
Republic of Indonesia

繁栄を築き、維持・発展させるのは、優れた政策と
政府による財政管理の意思決定です。

このセッションでは、自国の社会的及び経済的な発
展に大きく寄与する大改革を実際に主導してきた政
治指導者の方からお話を聞きます。

パネル・ディスカッションの登壇者は、より良い成
果を生み出す政府にするために用いた戦略、モデル
及び財政管理について、自身の経験を披露します。

また、グローバルな視点から、貿易面での統合、基
準、規制のフレームワーク、社会的投資、そして、
財政改革について考察します。

B3 : 将来の保証—信頼と信用の構築

会場：未定

 Nick Ridehalgh, Facilitator: Member /
IAASB's EER Assurance - Project Advisory Panel

大企業が国民の信用を失っており、今、ますます内
部的な行動規範の厳格化が求められています。そし
て、長期的に持続可能な価値を生み出し、過去の実
績や将来予測を外部に向けて透明性のある説明を行
わなければなりません。重要な利害関係者が求める
付加的な詳細情報に裏付けされ、外部に対する透明
性を向上させるために、統合報告という報告方法が
提案されています。

従来の報告書では、財務実績や財務状態に焦点が当
てられましたが、この「外部報告の新形態(EER)」は、
それだけではなく、戦略的な価値の重要な原動力の
すべてを考慮していきます。このように報告書を戦
略上より重視することは、保証業務の範囲をより広
範な開示の中で位置づけていく際に、課題・難題を
もたらします。たとえば、説明されている内容（戦
略や価値の原動力、ビジネス・モデル、ガバナンス、
リスク管理、特定の報告フレームワークへの順守に
ついての記述）及び先見的な情報（顧客推奨度、従
業員エンゲージメント、イノベーション・パイプ
ライン、倫理的なサプライ・チェーン、コンプライア
ンス又は行動規範の違反などの主要指標）について
保証を得るために、どのように取り組んでいけばよ
いのか？

このセッションでは、外部報告の新形態に関連して、

取締役会や経営陣といった内部に向けて、そして、投資家、顧客、従業員及び他の重要な利害関係者といった外部に向けて、私たちの仕事は、どのようにして信頼と信用を深めていくのかを考察します。

「どうして、この情報は投資家にとって重要なのか?」、「どのように、この情報は利用されるのか?」、「なぜ、投資適格である必要があるのか?」などの問いについて考えていきます。

報告書を作成する人と監査をする人の双方を支援するために利用される将来のテクノロジーやツールについての知識も得られます。そうしたテクノロジーやツールを使えば、より広範な一連の情報を、より速く、より正確に、より低コストで提供し、また、求められるデータの管理・報告・保証のために必要なリソースやスキルに対する予想される影響を知ることができます。

そして、登壇者は、国際監査・保証基準審議会 (IAASB) の外部報告の新形態による保証拡大のための作業部会 (タスク・フォース) 及び諮問機関 (アドバイザー・パネル) のメンバーと、すでに保証業務の提供を実践している実務家です。実際の業務では何を重視しているのか、また、今あなたが抱えている顧客にはどんな知見や指導・助言を提供できるのかについて話します。

B4 : 信頼されるアドバイザーの変わる役割—中小企業顧客の行動への影響力

会場：未定

Bri Williams CPA, Founder & Principal / People

Patterns Pty Ltd

Professor Andrew Conway FIPA FFA, Chief Executive Officer / Institute of Public Accountants

会計プロフェッショナルと呼ばれる人々は、SME のビジネスオーナーにとって、好んで助言をを求める対象として、常にユニークな地位を得てきました。しかし、アドバイスを行う領域が従来のみで十分なのでしょうか? SME は数字以上のところで順応したり生き延びたりする方法について、ますます会計プロフェッションの皆さんのアイデアを頼りにしているのです。今日、ファイナンスのプロとして成功するためには、ファイナンス領域の専門家であるだけではもはや十分ではありません。行動に影響を与えられるという点でも専門家である必要があります。

このセッションでは、Bri Williams 氏が科学に基いた行動の枠組み、顧客の行動や、さらには顧客の市場の行動に対しても影響を与えるための実用的な戦略について講演します。

B5 : グローバルで文化的な多様性のあるリーダーとリーダーシップ

会場：未定

Professor Ian Williamson, Pro Vice-Chancellor and Dean of Commerce / Victoria

先進国にしろ、発展途上国にしろ、異なるガバナンス構造の多様なビジネス・モデルのもとで、どのよ

うにリーダーシップを發揮すればよいのでしょうか? 組織内のそれぞれのチームに対して、どのように価値観や行動規範を動機づけ、また、イノベーションを可能にすることができるのでしょうか?

専門家と呼ばれる人々は、リーダーシップを頼りにされていますが、グローバルの市場ではスタイルは様々で、トレンドの移り変わりも速いです。現在のリーダーシップ・スタイルは過去 10 年と比べて大きく異なりますし、今後 4 年間を通じて、変わり続けることでしょう。

このセッションでは、あなたのリーダーシップに対する課題を見出す機会を提供します。Williamson 教授が、リーダーシップに対する新たな考え方を身に付けるお手伝いをします。また、自分独自のリーダーシップ・スタイルを開発、発展させるスキルやテクニックを提供します。

基調講演 2 信頼の失墜—世界に衝撃を与えた会計不祥事

会場：未定

Holly Ransom, Facilitator: Chief Executive Officer / Emergent

Michael Woodford, MBE, Former Chief Executive Officer / Olympus Corporation

Diana B. Henriques, New York Times Best Selling Author, / New York Times

会計不祥事や不正は、世界中のビジネスへの信頼に影響を及ぼしてきており、世界的に企業倫理が後退

しているのではないかという疑念を招いています。
Diana 氏と Michael 氏に、規模や影響の点で過去最も大きかった 2 件の不正事件から得た個人的及び職業上の話をさせていただきます。そして、規制緩和・内部告発・投資家保護・ガバナンスの限界、そして汚職や不正を特定し、訴える場合に会計や財務の専門家が有する役割について検討していきます。

【3日目】 11月7日（水）

09:00~10:30	基調講演 3
10:30~11:15	Morning Tea
11:15~12:30	分科会 C1-C5
12:30~13:45	Exhibition Lunch
13:45~15:00	分科会 D1-D5
15:00~15:45	Afternoon Tea
15:45~17:00	基調講演 4
19:00~23:00	Gala Event Sydney Nights

基調講演 3 – デジタル要素の導入 – 人工知能(AI)、自動化、機会

会場：未定

 Holly Ransom, Facilitator: Chief Executive Officer / Emergent

 Ayesha Khanna, Co-Founder and CEO / ADDO AI

人工知能は、すべての職業を変革するでしょう。私たちの仕事も例外ではありません。人工知能が、問題を集約し、解けないと思われた問題を解決し、人・機械・政府を協働させる、そんな時代が到来しようとしています。

その変化のスピードは凄まじく、AI についての知識なしでは、時代に取り残されます。では、AI はどのようにして価値を見出し、生み出して、生産性やイノベーションを促進するのでしょうか？ AI により、どのような恩恵が受けられるのでしょうか？

このセッションでは、アジア有数の AI 企業のリーダーである Ayesha Khanna 博士が、AI と自動化が日常生活に及ぼす影響について考察します。同氏は、新しいテクノロジーの対象、主体、監視役として、私たちが中心的な役割を担い続けることの重要性を説明します。セッションに参加し、なぜ、AI 導入の障害を解消するかどうかで、企業の成功が左右されるのかを理解しましょう。

C1 - 長期的価値創造に生かす統合思考

会場：未定

 Richard Howitt, Chief Executive Officer / International Integrated Reporting Council

 John Stanhope, AM, FCPA, FCA, Chairman, Australian Post and Chancellor / Deakin University

財務分野で先を行く人々は、統合報告の採用により大きな成功を収めつつあります。こうした成功にもかかわらず、統合報告の導入状況は世界中で様々であり、戦略的な成果や投資家にとって長期的な価値を生み出す好機を逃している組織があります。

このパネル・ディスカッションで議論するのは以下の内容です。

- ・統合報告を利用することが、どのように統合型思考やより良い意思決定を行う役に立つのか？
- ・統合報告に関する特定の利害関係者が必要とする情報
- ・統合報告の利用者に対する利便性と重要性の問題

C2 - イノベーションの進展と財務機能

会場：未定

 Janelle Hopkins, FCA, Executive General Manager, Finance and Group Chief Financial / Australia Post

 Jacqueline Chan, Chief Financial Officer / DBS Bank (Hong Kong) Ltd

未来の財務機能はどのようなものになるでしょうか？すでにテクノロジーのおかげで、財務チームは、より機動的で柔軟性のあるやり方で仕事をしています。そして、ビッグデータから洞察を引き出したり、洞察力に満ちた決定を迅速に行ったりすることができるようになっています。今後、イノベーションを創出し、実現していくために、財務のリーダーは極めて重要な役割を担っています。

このセッションでは、財務改革の専門家が、将来の財務機能や、作業中心から戦略中心へのシフト方法、また、ビジネスでイノベーションを支援できるチーム構築の方法について説明していきます。

C3 - デジタル通貨とブロックチェーンの金融への影響

会場：未定

 Dr Mahesh Joshi, Facilitator: Senior Lecturer, Accounting / RMIT University

 Brian Forde, Senior Lecturer for Bitcoin and Blockchain - MIT Sloan School of Management / Former (Crypto) Candidate for U.S. Congress, CA-45 / Former Senior Advisor for Mobile and Data Innovation / The White House

ブロックチェーンや仮想通貨は、国際金融に破壊的なイノベーションを起こしています。これを、「次世代のインターネット」と呼ぶ人もいれば、「未来の通貨」と呼ぶ人もいます。

どちらにしても、仮想通貨は存在し続けるでしょう

し、革命的な技術であるブロックチェーンもすべての産業セクターに対して大きなチャンスを生み出しています。

このセッションでは、MIT スローン経営大学院の上級講師である Brian Forde 氏が、今後、ブロックチェーンが実質的に金融の在り方をどのように変えていくのかを明らかにします。

Brian 氏は、その貢献により、世界経済フォーラムの「ビットコイン・ブロックチェーン業界で最も影響力のある人物」及び「若手グローバル・リーダー」の1人に選ばれています。その貢献の内容についても詳しく述べていきます。

こうした革新的な考え方が仕事をどのように変革していくのかを知るためには、最適の講演です。

C4 - ガバナンスとパフォーマンス：成長へ向けた経営陣の意思決定支援

会場：未定

 Dr Robert Kay, Co-Founder & Executive Director / Incept Labs

市場の力は、かつてないスピードで変化を推し進め、経営陣（取締役会）は投資家からのますます大きくなるプレッシャーや監視の目に直面しています。価値を解き放ち、より良い決定の指針となるように、事実に基づいた戦略的な助言を提供することのできる財務部長との強固な関係は、取締役に恩恵をもたらします。

Robert Kay 氏の研究は、従来の思考に疑問を呈し、良いガバナンスとはチーム（取締役と経営者）の活

動であることを見出しています。成長の機会を追求し、イノベーションを起こすため、意思決定集団が遭遇する課題を克服するために進むべき道に、セッションの出席者を案内します。

C5 - AIを用いたデータ主導の意思決定

会場：未定

 Ayesha Khanna Facilitator: Co-Founder and CEO / ADDO AI

 Natalie Nguyen, Chief Executive Officer / Hyper Anna

ビジネスでは、きわめて膨大な量のデータが生み出されます。ビッグデータから洞察を採掘（マイニング）することが既成の常識となる中、リアル・タイムで洞察の採掘を行うことは可能でしょうか？

リアル・タイムで役立つ情報の全体像を迅速かつ正確におさえて問題解決を必要とする財務のリーダーにとって、解決のカギは人工知能（AI）です。

Hyper Anna社は、AIを駆使したデータ分析を行う会社です。データの解析やチャートの作成といった時間のかかる技術的な仕事はもちろん、データから得た洞察結果をリアル・タイムでビジネスに提供します。

Hyper Anna社のCEOであるNatalie Nguyen氏が、このセッションのパネルに加わり、AIやデータ解析の可能性について話をするとともに、ATが作業する様子を実際にデモンストレーションします。登壇者は、後日お知らせします。

D1 - 小規模事務所-ビッグバン

会場：未定

 Erik Asgeirsson Facilitator: President and Chief Executive Officer / CPA.com

 Monica Foerster Chair, SMP Committee / IFAC

 Max Thomas Head of Business Development, Professional Segment, Tax & Accounting / Thomson Reuters

テクノロジーと自動化によって、会計、監査、税務のビジネスが変容しています。時間の節約、経費の削減、生産性の向上、より正確な情報の提供など、業務の効率化のために先進の技術を導入することによって、会計事務所は適応しています。

競争のグローバル化がますます進む中、事務所をどのように差別化すればよいか？国際会計士連盟（IFAC）による、中小規模の監査法人及び会計事務所（SMP）に関する最新の調査結果が示す課題について、事務所がどのように評価されるのか？

将来にも対応できる事業内容へとビジネス・モデルを改革した有能な実務家が登壇します。

D2 - 評価—芸術か、それとも科学か？

会場：未定

 Simon Dalgarno FCA Managing Director and Shareholder / Leadenhall Corporate Advisory Pty Ltd

 Rajeev Shah Managing Director and Chief Executive Officer / RBSA Advisors

企業は、事業を継続して行く中で、現実的な問題を解決していかなければなりません。そのためには、会計目的の評価に加え、それぞれのビジネスを評価することが必要です。

考慮すべき評価や仮定の必要性は、求めるものが高かによって大きく変わります。

このセッションでは、先進的な事例研究を科学的にみていきます。特に、国際ビジネスにおいて、必要とされた評価が行われ、その評価が意思決定のプロセスに役立つ事例を検討していきます。

参加者は、評価の際に考慮しておくべき特殊な課題及び、意見を形成するために必要な（「芸術的」）判断を理解していきます。

他の登壇者は、後日お知らせします。

D3 - ストーリーで語る力を覚醒する強力な方法

会場：未定

 Shekhar Kapur, Visionary Filmmaker and Storyteller

話術とは、最も人間らしい活動の1つであり、世界のカリスマ的なリーダーたちが備えるコア・スキルでもあります。語る力があれば、説得力をもって、自身の仕事上の目標や提案、アイデアをはっきり伝えることができるだけでなく、互いに理解し合う、動機づけを行う、また、人の上に立つということも可能です。

Shekhar Kapur氏は、アカデミー賞受賞の独創的な映画監督であるとともに、以前は英国勅許会計士や

経営コンサルタントでもありました。ストーリーで語る力を覚醒する強力な方法について語るには、最適の人物であり、自身の経験を披露していただきます。また、物語的に話す将来的な手法として、テクノロジーを用いる方法についての話もあります。

D4 - 機動的な財務部門

会場：未定

 Race Strauss, FCPA, Executive Manager Finance / Qantas Group (Qantas, Jetstar, Loyalty)

財務部門の将来の成功は、人と才能に深い関わりがあります。カンタス航空とジェットスター社は、人事部門と財務部門とを統合しています。Race氏は、生産性とパフォーマンスを格段に向上させつつある同社のモデルについて紹介します。このモデルでは、財務部門が独立した存在ではなく、ビジネス全体にわたって埋め込まれたような形となっています。こうすることで、財務部門の重要業績評価指標(KPI)が、事業部門と共有される目標を反映するようになりました。この新しいモデルが成功するためにやるべきことの1つは、適切な種類のデータ・スキル及び変化し続けることが不可欠という心構えをスタッフがきちんと持つようにすることです。

D5 - ブロックチェーンによる財務管理の効率化

会場：未定

登壇予定者：未定

ブロックチェーンは、会計慣行を混乱させ、財務管

理を改善し、資産の所有権と履歴についてより確かなものを提供します。会計士やファイナンスのリーダーがブロックチェーンとその潜在的用途に精通していることが不可欠です。

ブロックチェーンの使用を世界的にテストして財務管理を改善した最初の組織のひとつを紹介します。

このセッションでは、ブロックチェーンの機会を共有し、操作、エラー、データ品質に関する制御の継続的なメカニズムとしてのブロックチェーンのデモンストレーションを行います。

基調講演4 人間的要素：創造・イノベーション力を生かす

会場：未定

 Holly Ransom Facilitator: Chief Executive Officer / Emergent

 Sir Ken Robinson Author / Creative Schools

人間が火を使い、言葉を話すようになった時代から、創造力や想像力は人間的なものとして知られていました。データ量は、2年ごとに2倍に増え、情報過多は誰もが認める社会的現実となっています。このような時代に、雑音を遮り、もっと問題解決に頭を使うにはどうすればよいでしょう？

この画期的なセッションでは、Ken Robinson氏が、古い考えを再考しながら、最も創造力にあふれる組織及び政府のいくつかについて比較を行っていきます。

グローバル化、競争の激化、デジタル技術の破壊的

イノベーション及び多様性にさらされた組織にとって必要不可欠なものが、創造・イノベーション力であることを明らかにします。

【4日目】

11月8日(木)

07:00~08:30 Breakfast Session★

08:30~09:45 分科会 E1-E5

09:45~10:30 Morning Tea

10:30~11:45 分科会 F1-F5

11:45~13:00 Exhibition Lunch

13:00~14:45 基調講演 5

14:45~15:05 Afternoon Tea

15:05~16:50 基調講演 6

16:50~17:00 閉会式

※★は Sponsor による宣伝を踏まえたイベント

BS-財務における優先事項：人工知能と機械学習

会場：未定

 Dominic Parsons Managing Director / CALUMO

最高財務責任者(CFO)や公認会計士(CA, CPA など)は、日々の業務に従事しながら、人工知能(AI)及び機械学習(ML)が将来の財務チームの仕事の在り方を劇的に変えるであろうことを知っています。

企業業績管理(CPM)の先進的ソフトウェア開発会社であるオーストラリアの CALUMO 社は、経営分析、報告書作成、予算編成、企画立案を1つに統合したアプリケーションを提供しています。組織が、財務的に最適な将来を予測・構築・達成していくために必要なアプリケーションです。人工知能や機械学習と聞くと、多くの人にとっては黒魔術的なものですが、CALUMO 社は顧客との共同作業を通して、プロセスを明らかにしながら、結果を導き出していきます。

このセッションでは、現在及び将来の財務チームにおける人工知能・機械学習の実用面での重要性を話し、進行中のプロジェクトや最近得られた成果についてもみていきます。そして、今後起こるかもしれない変化及び起こるであろう変化について、より深く理解します(心配が少しでも軽減されることを期待します)。

セッションのタイトルは、「人工知能と機械学習一立ち止まって考えてみよう」です。

E1 - アジアにおけるビジネス環境の変化を理解する

会場：未定

 Zhang Ke Chairman / ShineWing

 Marco Carlei Managing Director / ShineWing International

アジア地域は中産階級において前例のない成長を経験しています。中国のような国々が国境を開いたり、貿易関係を拡大したりしています。あなたの業務はどう変わるのでしょうか？

アジアのビジネスにおける最大の話題の一つは、中国の「一带一路」構想であり、これは貿易を変革する経済外交プログラムです。パネルでは以下について議論します。

- ・会計事務所やビジネスが追求すべき機会
- ・機会を利用して成功するために、個人とビジネスの両方が必要とする能力
- ・この新しい時代に、財務のリーダーがそのアプローチを変える必要がある理由

E2 - 次世代・新しい人材をひきつけるには

会場：未定

 Holly Ransom, Chief Executive Officer, Emergent (AU)

2020年までに、労働人口の大部分はミレニアル世代(1980年代から2000年前後に生まれた世代のこと)になります。企業の文化と価値観は、ミレニアル世

代のものの見方に合わせて変化することが不可欠です。

企業の社会的責任のクローズアップやダイバーシティー&インクルージョン（人材の多様性をお互いに包摂すること）の広がり、さらには、より柔軟な勤務形態や、変化に俊敏に対応する職場と、この世代の価値観は明瞭です。

このセッションでは、現代の経営者を対象としたエンゲージメント戦略及び、今後の職場における個人とビジネスの価値を結びつけることの重要性に関して、詳しく考察をしていきます。

E3 - 監査と機械化

会場：未定

 **Mark Edmondson** President and Chief Executive Officer / Inflo

テクノロジーの進化は、監査に大きなチャンスをもたらしますが、大きな課題も伴います。

監査手続きの充実を図るために、テクノロジーを活用して、生産性効率を向上し、より優れた洞察を提供することは、今では珍しいことではありません。

しかし、テクノロジーが監査手続きに対してできることは、それだけでしょうか？

このセッションでは、まず、最善の結果を出すためにスタッフのスキルをどのように向上させればよいのかについて述べ、規制当局が監査結果から求めているものを理解し、そして、顧客がビジネス・モデルにテクノロジーや自動化を取り入れている場合、

監査手続きはどう変わるのかをみていきます。主なテーマは以下の通りです。

- ・自動化、第4次産業革命及びブロックチェーンの監査に対する影響を理解した上で、人間に求められることを考えていきます。
- ・ビッグデータだけでなく、リアル・タイムのデータも監査に反映することを改めて認識します。
- ・予測分析に際して人工知能を使用し、データ分析に際してアルゴリズムに依存することは、証拠という点で課題があることを理解します。
- ・今後、監査や監査人のスキルは、どのようになっていくのでしょうか？

E4 - 未来の財務パートナー

会場：未定



財務部門のリーダーや会計士は、顧客、経営陣、取締役会、政府に報告するよう求められます。このセッションでは、会計士がアドバイスを作成して伝える際に、また、ビジネス・パートナーのネットワークを構築する際に役立つスキルを紹介します。

E5 - サイバー犯罪からの防衛—データとデジタル通貨のリスク

会場：未定

 **Keren Elazari**, Analyst, Author and Senior Researcher / Blavatnik Interdisciplinary Cyber Research Center, Tel Aviv University

サイバー犯罪が増えています。Target や Sony Pictures、GPS Hijacking、Zero Days のような大企業のサイバー侵入事件では、膨大なコストと評判上のダメージが発生しました。リスクは会計事務所にとっても変わりません。サイバー犯罪者は、税理・会計事務所を絶好の標的として見えています。そうした事務所は顧客の財務システムの鍵を保有しており、一度侵入するだけで大量の実データを集めることができるからです。デジタル通貨の使用が増加すると、リスクが悪化するだけです。

サイバーセキュリティの専門家、Keren Elazari 氏は、サイバーセキュリティの主要な動向及びデジタル時代にビジネスが対処しなければならない問題点について講演します。新しいセキュリティ上の脅威を明らかにし、サイバー攻撃を防止するために、アイデアを実践するよう働きかけます。

F1 - フィンテックの成長—規制と中央銀行機能への挑戦

会場：未定

 **Michael Jordaan**, Founder and Chief Executive Officer / Montegray Capital (ZA)

 **Jihad Alwazir**, Assistant Director and Division Chief of Central Bank Operations in the Monetary and Capital Markets Department / International Monetary Fund

フィンテックの急成長が世界を席卷し、革新的な企業が金融サービスの提供手段を向上するための解決

法を編み出しています。以下のテーマについて検討していきます。

- ・適切な規制がないために脆弱性が存在するのはどこか
 - ・イノベーションを抑制することなく、政策と規制が潜在的なリスクにどのように対応すべきか
 - ・伝統的な銀行がデジタル化を進めるために何をしているか
 - ・モバイルマネー決済システムの将来
- 他の登壇者は、後日お知らせします。

F2 - CFO 4.0：最高財務責任者の新たな役割

会場：未定

財務の仕事は、自動化やオフショア化、ソーシングの中央集権化により、形を変えてきました。

CFO の役割は、戦略的な情報提供から、ビジネスを将来的に継続するための価値創造へと進化し続けています。こうした考えをもつリーダーたちは、財務的にも非財務的にも価値を創出し、繁栄が続く社会を築くために持続可能な意思決定をすることが、自分たちの役割だと考えています。

このセッションでは、財務のリーダーが、それぞれの組織でいかにして価値創造の IQ (知能指数) を高めているかを明らかにします。

価値創造に関する世界有数の専門家が、実践してきた財務上及び業務上の戦略について、以下のような事項を含めて、詳しく理解していきます。

- ・デジタル技術の活用
- ・機械学習の時代における生産性の最大化

- ・規模拡大及び成長への転換戦略
 - ・ビジネスのための資金調達、リスク管理及び構造改革に対する戦略立案
 - ・ビジネスを継続するための実質的な価値の創造
- 登壇者は、後日お知らせします。

F3 - 若手会計士が世界を変える

会場：未定

 Shelley Cable ASA Senior Consultant / PwC's Indigenous Consulting

 Charlotte Hayes CPA Chief Financial Officer / Invictus Games Sydney 2018

 Priya Singh General Manager, Enterprise Data and Financial Excellence / Fonterra

登壇するのは、世界に変化をもたらし、人・地域社会にポジティブな影響を与える若手の財務リーダーです。

Shelley Cable 氏による感動的な話を聞いてください。同氏は、その金融能力育成に関する功績により、国連での講演に招かれました。今も、先住民族の参加を通して、会計の持つ潜在的な可能性を解き放つために尽力しています。

Invictus Games 社の CFO である Charlotte Hayes 氏の感動的な話を聞いてください。同氏は、負傷・けが・病気をしている現役及び退役軍人を受け入れてきました。

Priya Singh 氏は、ニュージーランド最大の企業 Fonterra 社の CFO です。フィジー出身の同氏は、

恵まれない人々を支援することに情熱を燃やし、自身の最初の社会事業“Mentor Me Fiji”を起こしました。同事業は、孤児の女の子が大学教育を受けるための支援を目的としています。つい最近では、社会事業“Karma Collective”を起こし、第三世界の若手起業家とビジネスにおける指導・助言者とのマッチングを支援しています。

F4 - データとデジタル技術を活用して、いかに利害関係者を納得させるか

会場：未定

 Brendan Hargreaves, CPA, FCA, General Manager / Liquid Waste Services at Cleanaway Waste Management

数字は物語る一では、それをうまく伝える方法は？財務分析がビジネスに好結果をもたらすことには、必要不可欠なことがあります。

このセッションでは、

- ・財務についてのプレゼンテーションやコミュニケーションを、すべての利害関係者にとって、より分かりやすく、印象的なものへと変える方法を提供します。
- ・財務への理解をより深め、インパクトを与える視覚的な資料の作成を学びます。
- ・ビジネス・コミュニケーションを活性化し、より少ない労力で、より大きな影響を与えることを学びます。

F5 - デジタル時代の新しい働き方

会場：未定

 Bernard Salt AM Facilitator: Managing Director / The Demographics Group

 Helen Brand Chief Executive / Association of Chartered Certified Accountants

現代の労働力は企業にとって最大の資産です。役割の自動化、テクノロジーによる破壊的イノベーション、相互連結性、グローバリゼーションおよび人口構成の変化は、すべての職場において変化を推進する力です。

このパネルでは、専門家が、以下のようなテーマを中心に、デジタル時代のグローバルな主要動向及び新しい働き方を議論していきます。

- ・財務の役割が受ける影響及びスキル向上の重要性
- ・リーダーシップや価値観、報酬の将来的な形態
- ・効果的な人材管理手法と多文化・多世代の職場がもたらす機会

基調講演5 - グローバル・リスクと「未来の衝撃」

会場：未定

 Tony Jones, Facilitator: Australian Journalist / ABC

 Alison Martin, Group Chief Risk Officer / Zurich Insurance Group

 Ban Ki-moon, Secretary-General of the United Nations (2007-2016) / President & Chair, Global Green Growth Institute / Chair, International Olympic Committee Ethics Commission / Founder, Ban Ki-moon Centre for Global Citizen

グローバル・リスクとビジネス・リスクが絶えず変化する世界で、どのようにビジネスは両者に対して照準を合わせればよいのでしょうか？

「2018年版グローバル・リスク報告書」に示されているような大規模で複雑なグローバル・リスク（環境悪化、サイバーセキュリティ違反、経済的緊張、地政学的緊張）を認識・測定し、緩和することで、よりストレスに強い将来が作られるでしょう。

このパネルでは、「2018年版グローバル・リスク報告書」にある上位5つのリスクを考察し、政府とビジネスが検討すべき最も効果的な長期的予防戦略について議論します。

基調講演6 - 将来が保証される職業・トレンド、スキル、マインドセット、行動

会場：未定

 Holly Ransom Facilitator: Chief Executive Officer / Emergent

 Robyn Denholm FCA Chief Operations Officer / Telstra Corporation / Board Member & Audit Committee Chair, Tesla Motors Inc.

職業としての会計の将来について多くの議論があります。役割の自動化が進むと、経営者が求めるものは、仕事の肩書きからスキル・セットへと変化しますが、実際には、将来、どのようになるのでしょうか？

オーストラリア・ニュージーランド勅許会計士協会 (CA ANZ) とオーストラリア会計士協会 (CPA Australia) は LinkedIn 社と提携し、先進的な研究報告書「会計・財務職業エコノミック・グラフ (Accounting and Finance Profession Economic Graph)」を作成する予定です。

セッションでは、こうした新しい領域について明らかにしていきます。専門的資格と経営者の求めるスキルの間に、各地域でギャップが見え始めています。必要とされる存在であり続けるためには、この専門職全体が、新領域に焦点を広げ、以下のようなことを理解する必要があります。

- ・国のビジョンが重要かどうか
- ・職業がどのように貢献しているか
- ・今後 30 年間の職業の在り方を決める将来のスキル
- ・自分の職業を将来的に保証する方法
- ・「ニュー・エコノミー」と呼ばれるこの時代を生き残るためには、どのようなスキル・セットが必要なのか